

子どもが突然事故にあったり、けいれんを起こしたり、高熱を出したり……。
 こんな時、何も考えられずにただあわてて救急車を呼ぶことがあります。
 しかし、そんな時こそ冷静に状況を判断して、観察ポイントやしなくてはならない処置を的確に行なうことが
 大切です。9月9日は救急の日。大切な命を守るために心肺蘇生法を確認しておきましょう。

心肺蘇生法

病気や事故などで心肺が停止してしまったら、周囲の安全を確認した
 上で、救命処置を行いましょう。

①



耳もとで「大丈夫?」「もしもし」「○○ちゃん」など大声で呼びかけながら、軽く肩をたたきます。その時に、目を開くなどの反応がないかを見ます。

②



反応がない場合、大きな声で助けを求めましょう。救助者が一人の時はまず 119 番に通報します。協力者がいる場合は、119 番への通報と AED を持って来るよう指示してください。

③



片手を額に当て、もう一方の手の人差し指と中指2本であご先を上げ、頭を後ろにのけぞらせ、空気を肺に通しやすくします。

④



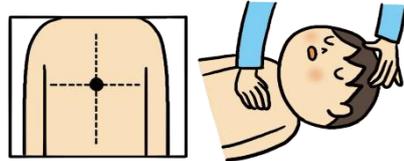
子どもの胸の動きを観察しながら、頬を子どもの口・鼻に近付け呼吸を確認します。反応はないが正常に呼吸をしている場合は、気道確保を続けて救急車を待ちます。

⑤



呼吸がない場合は、額に当てた手の親指と人差し指で子どもの鼻をつまみます。口を大きく開けて子どもの口を覆い、空気が漏れないようにして息を1秒かけて吹き込みます。一度口を離し、同じようにもう1回吹き込みます。

⑥



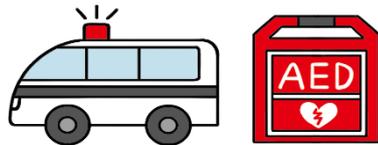
次に胸の真ん中(乳頭と乳頭を結ぶ線の真ん中)に、片方の手の付け根を置きます。肘を真っ直ぐにして手の付け根の部分に体重をかけ、圧迫します。1分間に 100 回の速いテンポで 30 回連続して圧迫します。

⑦



⑥を 30 回連続で行った後に、⑤を2回行います。この組み合わせを、救急隊に引き継ぐまで絶え間なく続けます。

⑧



心肺蘇生法を行っている途中で、AED が届いたら、すぐに AED を使う準備を始めます。AED は電源が入ると音声メッセージとランプで指示をしてくれるので、落ち着いてそれに従いましょう。

119 番通報のポイント



①救急であることを伝える

救急です

②救急車に来て欲しい住所を伝える

〇区〇町〇丁目〇番〇号です

③「いつ、誰が、どうして、現在どのような状態なのか」
 をわかる範囲で伝える

〇歳の男の子が呼吸をしていません…

④通報している人の名前と電話番号を伝える

* 通報時に伝えた連絡先の電話は、常につながるようにしておく

* 救急隊が到着するまでの応急手当の方法などを必要に応じて聞く

私の名前は〇×〇子です。
 電話番号は…